

2014年5月22日

テバ製薬株式会社
テバファーマシューティカル株式会社

この資料は、2014年5月8日にテバ本社（イスラエル）が発表した報道資料の邦訳です。
訳に齟齬が生じる場合、原文が優先されます。

テバ社のCOPAXONE®が、
ファーマシューティカル・エグゼクティブ・マガジンの
『ブランド・オブ・ザ・イヤー』に選出

2014年5月8日、エルサレム-テバファーマシューティカル・インダストリーズ・リミテッド (NYSE:TEVA) <以下、「テバ社」>は、再発寛解型多発性硬化症の標準治療薬として世界で最も知られる COPAXONE®（グラチラマー酢酸塩）が、バイオ医薬品業界有数の媒体であるファーマシューティカル・エグゼクティブ・マガジンが主催する2014年度の『ブランド・オブ・ザ・イヤー』に選ばれたと発表しました。

テバ社のバイス・プレジデント兼CNS領域ゼネラルマネジャーのMike Derkaczは次のように述べています。「テバ社とCOPAXONE®チームは、この業界で権威あるファーマシューティカル・エグゼクティブ・マガジンに認められたことを光栄に思います。この賞は、テバ社の社員と研究者達が長年積み重ねてきた努力の証です。彼らはCOPAXONE®を成長させ、本製剤に対する医師や患者の信頼を高めました。そして製剤のメリット、忍容性および安全性を広く伝えました」。

ニューヨークでファーマシューティカル・エグゼクティブ社が主催した授賞式では、テバ社を代表して中枢神経系疾患領域のマーケティング部門のバイス・プレジデントであるJohn Hassler が『ブランド・オブ・ザ・イヤー』賞を拝受し、次のように述べました。「テバ社は20年以上にわたってCOPAXONE®の臨床研究、製品強化およびShared Solutions®のような患者支援サービスに取り組み、多くの再発寛解型多発性硬化症患者さんに適切な治療法としてCOPAXONE®を選んでいただくことに、一貫して注力しています。テバ社は最近、FDAからCOPAXONE®40mgの週3回投与が承認されました。この度の名誉ある受賞は、我が社の実績を証明するものです」。

COPAXONE®は1996年に米国FDAで、再発寛解型多発性硬化症の治療薬として初めて承認されました。米国、欧州諸国、イスラエル、カナダ、メキシコ、オーストラリア、ロシアを含む世界50カ国以上でCOPAXONE®20 mg/mLの連日投与が承認されています。

2014年1月28日、テバ社は米国食品医薬品局よりCOPAXONE®40mgの週3回投与の追加適応を受けたことを発表しました。このことにより、COPAXONE® 20 mg/mLの連日投与と比べて、皮下注射の回数を減らすことが可能となりました。

COPAXONE®について

COPAXONE® (グラチラマー酢酸注射剤)は多発性硬化症の再発予防に適応されます。本製剤の最も頻度の高い副作用は注射部位反応(紅斑、疼痛、腫瘍、そう痒感および浮腫)の他、フラッシング、発疹、息切れ、胸の痛みがあります。重要な追加情報は、以下の URL を参照してください：www.CopaxonePrescribingInformation.com。COPAXONE®は現在、米国、欧州諸国、イスラエル、カナダ、メキシコ、オーストラリア、ロシア等世界 50 カ国以上で承認されています。